

平成 11 年 5 月 31 日
日 本 学 術 会 議

世界科学会議 (World Conference on Science) について ～ 21 世紀のための科学 新たなコミットメント ～



1 会議の趣旨

この会議は、科学が直面している様々な問題の解決のために必要な科学コミュニティ、政府、産業界及び一般大衆の理解と、戦略的な行動について、世界のトップレベルの科学者の間で討議することを目的として開催されるものです。

この会議では、「科学と科学的知識の利用に関する世界宣言」が採択される予定です。
(WCS Web サイトに掲載。URL は、本資料末を参照)

2 国内の対応等

日本学術会議は、ICSU(国際科学会議)の日本代表窓口として第7常置委員会に ICSU 分科会を設けており、この会議に関しても ICSU からの要請を踏まえ、積極的に協力しているところです。

また、文部省のユネスコ国内委員会では、自然科学小委員会及び人文・社会科学小委員会の下に、大橋秀雄会員(日本学術会議第7常置委員長・ICSU 総務委員)を含む有識者からなるワーキンググループ(主査 平野健一郎(ユネスコ国内委員会人文・社会科学小委員長))を設置しています。

本会議には、世界各国から参加の予定があり、我が国も科学者を中心とした10名程度の政府参加団を派遣する予定です。

3 会議の概要

- (1) 開催期間 1999年6月26日(土)～7月1日(木)
- (2) 開催地 ブダペスト(ハンガリー)
- (3) 主催者 ICSU(国際科学会議)とユネスコの共催
- (4) 参加対象 加盟国、研究機関、教育機関、学界、産業界、政府間機関、非政府機関、マスコミ、一般大衆

(5) テーマ 「21世紀のための科学 新たなコミットメント」

ア フォーラム : 科学、その成果、欠点、チャレンジ

科学そのもの、科学によって提供される機会、科学が対応しなければならないチャレンジに焦点を当て、社会とその意思決定者に対して、科学が来るべき数十年の間提供すべきものについて明確な陳述を行います。

イ フォーラム : 科学と社会のインターフェイス

科学者、政府、産業界、一般の代表の間における科学と社会のインターフェイスに関する対話に関することを議論します。

ウ フォーラム : 新たなコミットメント

主として、政府、政策決定者、その他全てのパートナーの代表により、世界の科学に対する投資を決意し、科学の実践における倫理的原則への新たなコミットメントを行います。

(6) 日本学術会議関係者の出席

ア 吉川弘之 日本学術会議会長は、会議 2 日目 (6 月 27 日) 午前に行われるフォーラム 全体会合において、「科学技術」というテーマで次の内容に関する基調講演を行う予定です。

- ・変化しつつある科学技術の関連及びそれらが科学と技術へ与える影響
- ・新たな制度上の取り決めの必要性:
産学の連携、資金助成メカニズム、科学技術の計画、知的所有権と特許
- ・科学技術の過程におけるパートナー:
自然科学者と社会学者、技師と科学技術者の役割
- ・科学技術開発に関する状況とモデルの多様性

イ 伊藤正男 前会長は、フォーラム 会議 2 日目午後に行われる分科会「垣根を超えた科学」において、「ヒューマンフロンティア研究計画」というテーマで講演を行う予定です。

ウ 星元紀 会員は、フォーラム 会議 2 日目午後に行われる分科会「複雑系への科学的アプローチ」において、「生物における複雑系」というテーマで講演を行う予定です。

エ このほか、佐々木恵彦 副会長、大橋秀雄 第 7 常置委員長、木村捨雄 科学教育研究連絡委員会幹事が、日本学術会議関係者として参加予定です。

(7) 世界科学会議に関する Web サイト

ア UNESCO : 日程や、Declarationなどを掲載

URL: <http://www.unesco.org/science/wcs/index.htm>

イ 文部省 : 文部省ニュース (1999 年 4 月)

URL: <http://www.monbu.go.jp/news/00000325/>